



時代と世界と可能性

令和7年8月28日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

世界における技術革新は、企業における新たな可能性である。技術と製品におけるプレゼンスは世界経済において企業に対してその新たな可能性を与えるものである。

またこれらはグローバル基準という資本基準において企業への理解構築を可能とするものである。

これらは世界における新たな標準化へ企業が自らのスタンダードの育成を可能とできるものであり、それらは世界におけるはるかに想像に優る需要への製品とサービスの供給を実現するものである。

これらはグローバル経済への参加であり、時代変化が与える可能性なのである。

これらは合理的思考において企業システムを飛躍させ、先端技術の育成とともに企業製品の確立を実現することにおいて新たなグローバル経済における市場需要への製品の固定した供給を確立できるのである。

これらが日本市場の閉鎖性を離れ新たな現実に参加することであり、これらは今日日本市場がグローバル経済に組み込まれそのグローバルスタンダードにおいて自己を要求されることにおいて誤りでないのである。

これらは固定化された現実が完全に崩壊するものである。経済においてその先端産業の独占が存在することとともに、これらグローバリズムを否定して今日企業経営を求めることは不可能である。

これらはまた時代変化が大きなスピードで存在し、それら変化の潮流は企業に対して自己変化を要求するのである。

これらはフレキシブルな企業の環境が現実に対応できるものであり、旧社会の現実には固執することはもはや未来を与えないのである。